

話題提供

産学連携と大学発スタートアップ

PwC Consulting LLC
鐘ヶ江 靖史



本日のアジェンダ

- ・自己紹介
- ・大学発SUの現状と稼ぐ力
- ・ディスカッション
産学連携の位置づけや大学発スタートアップ創出を起点として

自己紹介



鐘ヶ江 靖史
Senior Manager
Consulting – Public Services

経歴/専門領域

公共事業部における中小企業/スタートアップ支援チームリード。

株式会社日本総合研究所、文部科学省科学技術・学術政策研究所、EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング株式会社を経て2017年より現職。主要官公庁の調査研究や、研究開発テーマの再構築や技術の用途展開、新規研究テーマの構築等のコンサルティング案件、大学院博士課程における研究・教育の実施状況や高学歴者の育成・進路や活用・キャリアパスに関する研究、民間企業の研究開発テーマの再構築や技術の用途展開、新規研究テーマ構築に関するコンサルティング案件等に従事。MOT（技術経営）、研究開発戦略の成果の創出・事業化支援や成果の社会実装、知的財産戦略に関するテーマに関する知見を豊富に持つ。

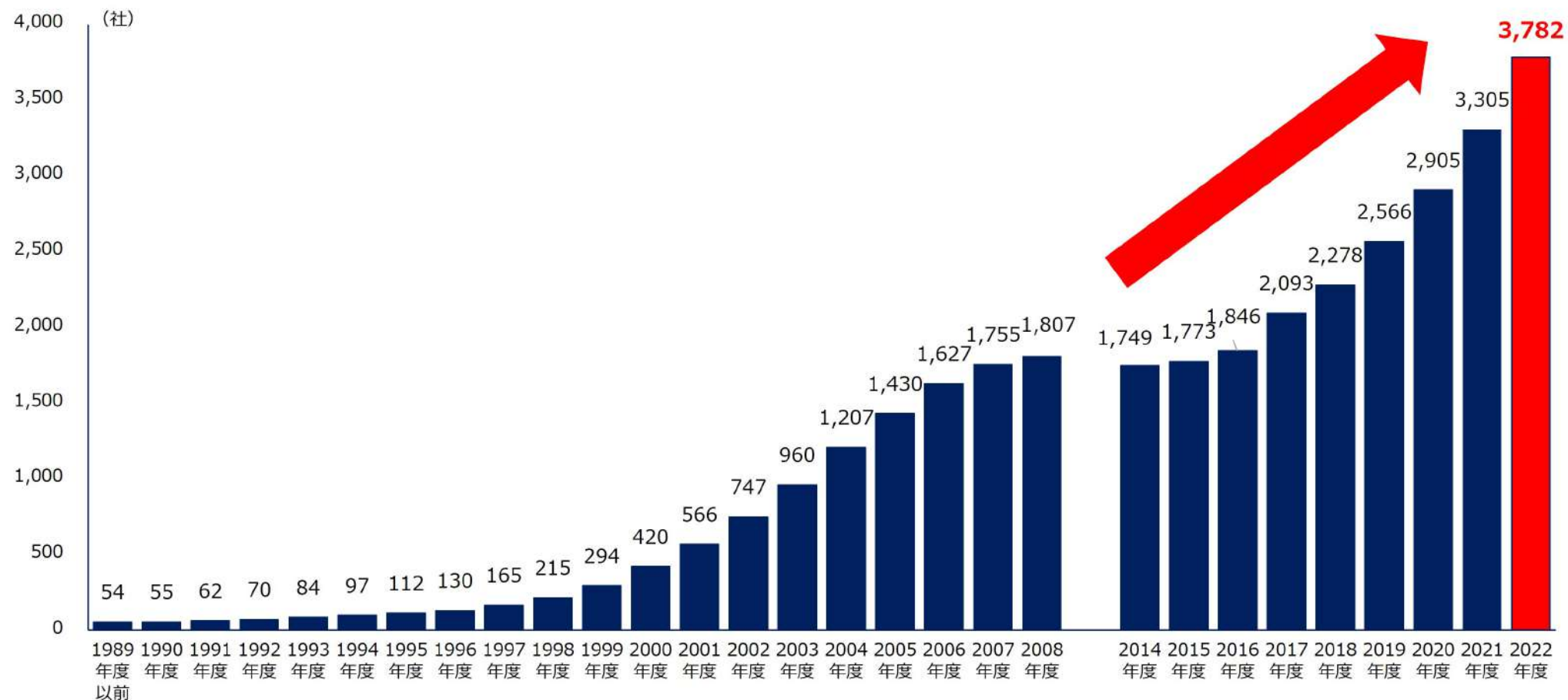
主な関連実績（抜粋）

- 大阪公立大学 非常勤講師
- 内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)構造化チーム運営及び調査」(2020)/「SIP第1期追跡調査」
- NEDO「官民による若手研究者発掘支援事業における研究開発テーマの実用化に向けたマッチング支援業務」
- NEDO「人工知能技術適用によるスマート社会の実現の事業化に向けた課題整理業務」
- NEDO「次世代人工知能・ロボット中核技術開発におけるマッチングイベントの企画・立案・運営業務」
- NEDO「ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト/プロジェクト成果の展開可能性に関する調査」
- 文部科学省、「オープンイノベーション機構の効果的な支援に係る調査」

大学発SUの現状

2010年度後半以降、理由はともかくとして大学発SUの数自体は伸びている

大学発ベンチャー数の年度推移



参考 経済産業省「令和4年度大学発ベンチャー実態等調査

産学連携の強化 × 大学発スタートアップの増加



大学としての「稼ぐ力」

大学の稼ぐ力の強化①

大学統合に伴い、「総合大学」としてのプレゼンス向上へ『稼ぐ力』の抜本的改革・向上を1つのキーワードとして実施

大阪公立大学、30年度までに起業50社 「稼ぐ大学に」

関西 [+ フォローする](#)
2024年5月28日 5:00 [会員限定記事]

 保存     

大阪公立大学は2030年度までに大学発スタートアップを50社創出する方針だ。起業に向けたコンサルティング窓口を設けるなど支援体制を整え、特許のライセンス料や寄付金など大学が得られる資金の増加を目指す。限りがある補助金や交付金に頼らず、外部資金を稼ぐ力を高めて研究や教育環境の充実につなげる狙いだ。

大学発のスタートアップ数		
順位	大学	企業数
1	東京大	420
2	慶応大	291
3	京都大	273
4	大阪大	252
5	筑波大	236
6	東北大	199
7	東京理科大	191
8	早稲田大	145
9	名古屋大	143
10	立命館大	135
	⋮	
27	大阪公立大	37

(出所) 経済産業省

大学の稼ぐ力の強化②

大学としてフルコミット 『稼ぐ力』の抜本的改革・向上に向けて本格稼働

九州大学、「稼ぐ力」向上へ新会社 研究力の収益化加速

九州・沖縄 [+ フォローする](#)
2024年3月21日 5:00 [会員限定記事]

保存

九州大学が「稼ぐ力」の抜本的な強化に乗り出す。4月1日付で既存の産学連携組織を大学本体から切り離して株式会社化する。その傘下にファンドや民間企業向けサービスを手掛ける子会社を置き、機動的に大学発スタートアップの立ち上げや企業との共同研究ができる体制を整える。国からの運営費交付金が縮小するなか、多様な手法で研究力の収益化をめざす。

NEW 九大 O I P 株式会社が 6 月より本格稼働

～産学官連携業務を拡大～

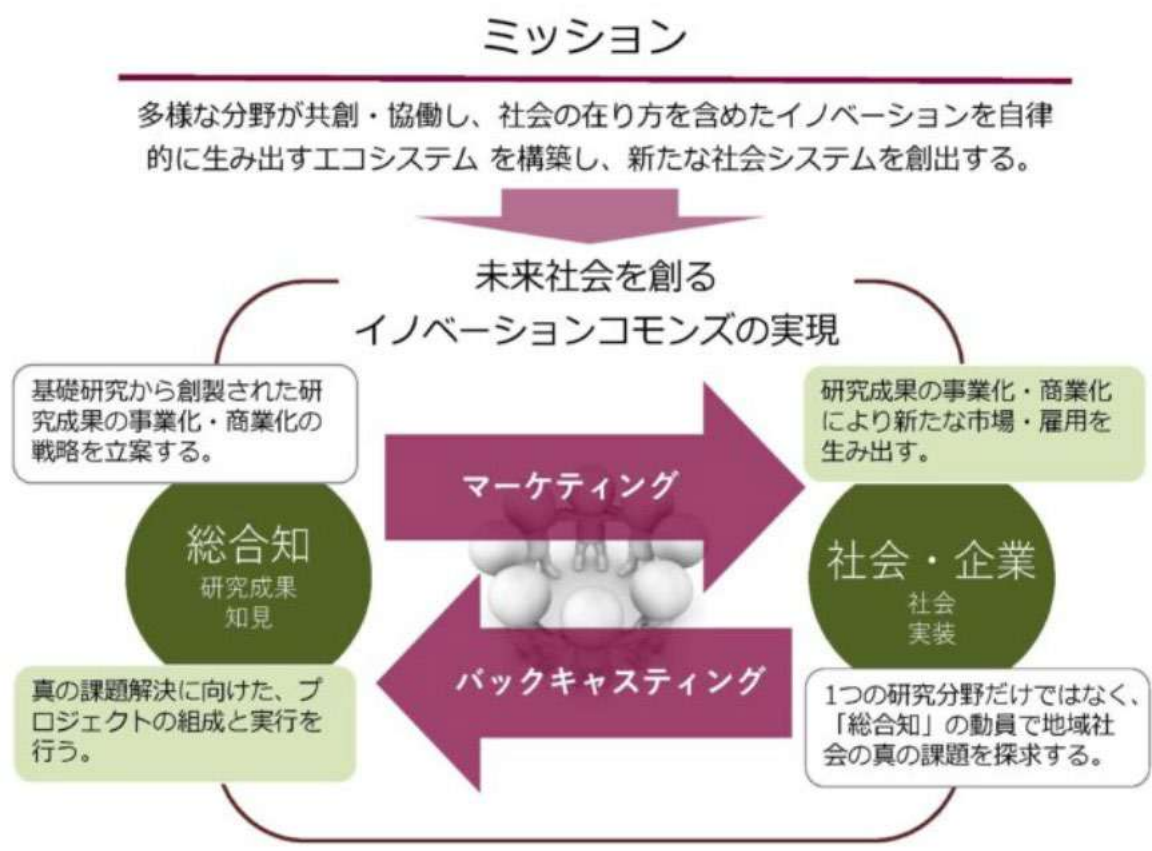
2024.05.31

[お知らせ](#)

国立大学法人九州大学（以下「本学」という。）は研究成果を迅速に社会実装するために、本学 100%出資の子会社「九大 O I P 株式会社（以下「O I P」という。）」を令和 6 年 4 月 1 日に設立しました。

このたび、O I P の業務体制が整い、令和 6 年 6 月 1 日より本格稼働をする運びとなりました。

商号	九大 O I P 株式会社 (英文) Kyushu University Open Innovation Platform Co., Ltd.
所在地	福岡市西区九大新町5番5 研究開発棟111号室
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大西 晋朗 (副理事長) 取締役 榎田 晋 (理事・副学長) 佐々木 一成 (副学長) 高田 仁 (QRECセンター長)



大学の稼ぐ力の強化③

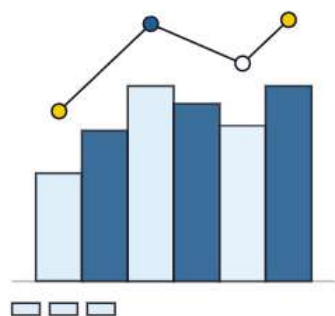
大学の知見を還元するためのイノベーションエコシステムの構築
ディープテックを活用した社会課題の解決

東大IPCの3つの事業

Cooperate Innovation

投資事業

Investment



投資家 起業家
プレシードベンチャー



起業支援

Incubation, Hands-on Support



東大をはじめとする国内アカデミア関連
ベンチャー企業



DEEPTECH DIVE

Career Support



PhD、エンジニア、研究者、経営者、
社会人経験者、院生、学生



大学の稼ぐ力の向上に向けた「産学連携」や「大学発SU」

以下がキーワードと想定

- 必ずしも大学のシーズや知見をベースとする必要はない
→社会科学面でのアプローチや方法論からの貢献／社会科学を実践するためのSU
- 大学として持つべき機能
「残す機能」、「新たに獲得する機能」
「持つべきではない機能」
- 機能を発揮するために必要となる能力、スキル、ネットワーク
- 学内／学外（地域）のステークホルダー